

中原区でも『わんわんパトロール』の導入を

川崎市議会議員 末永 直



末永 直 プロフィール

- 国立佐賀大学大学院
教育学研究科卒業
- 自民党参議院議員元秘書
- 昭和58年5月27日 34歳
- 政務活動事務所
〒211-0034
中原区井田中ノ町42-10
問合せ先 ☎044-789-5823

私は今、柴犬を飼っています。散歩を喜び、はしゃぐ愛犬の姿にはいつも目元が緩みます。仕事柄、夜間の散歩が多いのですが、「この散歩の時間が地域の為になるように活きないだろうか」と考えます。

ちょうど3か月前に「ホットスポットパトロール」の取組について寄稿させていただきましたが、おかげで、愛犬との散歩が、犯罪の抑止等には「人の目」が増えた、川崎市安全安心まちづくり推進協議会の「平成29

追加しました。

年度川崎市安全安心まちづくり推進計画の中身に、「犯罪・非行が発生しやすいホットスポットにおけるパトロール」と新規に文言が

年度川崎市安全安心まちづくり推進計画の中身に、「犯罪・非行が発生しやすいホットスポットにおけるパトロール」と新規に文言が

二石二鳥。飼い犬との散歩が地域を守るために社会貢献になることを実感すれば、生きがいや充実感にもつながり、二石三鳥にもならないかと思い至りました。

また、市民文化局長から質問において、中原区長、市民文化局長に「わんわんパトロール」導入についての質問をさせていただきました。現状におけるより「効果的な取組」について中原区長に伺ったところ、「地域のつながりの中で見守りの目を増やしていくことは大変重要であり、中原区としては、関係局等と調整し、町内会等の協力を得ながら、防犯活動に興味のある

愛犬家の皆様に、地域の防犯パトロールなどの活動への参加を促す取組を進めてまいりたい」とご答弁いたしました。

そこで、先の議会の一般質問において、中原区長、防犯活動団体に対して、腕章やビブスなどの防犯グッズの貸与を行っている「ながらパトロール」などの広がりに向け、川崎市安全安心まちづくり推進協議会のつながらの中で見守りの目を増やしていくことは大変重要であり、中原区としては、関係局等と調整し、引き続き、本問題提起が取組として現実化できるよう活動して参ります。